

青年の怖れ

成長するというのは皮肉がきつくなることだ
そして世間の風に当るほどに皮膚は角質化し
そして人は、何と甲羅をへた爬虫類に成り変わる

その鎧の群れの中に素裸でおろおろする僕のような奴は
皆んな、精神の糸に生えた細かい繊毛を逆なでされ
次第に張りつめて気を遣えてゆく

輝かしく明るいトランペットは僕たちの死だ
哀しい音楽は僕たちから自然に流れ出るが
楽しげな音楽は僕たちの冷たい血で書かれたのだ

僕たちは小さな皮肉にさえも草のようにふるえる
そしていつかは踏み倒されて枯れる
僕たちの願いは強くなることではなく
ただ仲間同士で抱き合うことだけだ

(1982.6.19)